

レース艇購入/OB会費増収へのご支援要請

早稲田大学理工漕艇部OB会
会長 鳥羽博司

2018 年のOB会活動も、「現役支援とOBの為のOB会」を活動の両輪として、行って参りますが、現在のOB会体制も6年目に入り、体制の新陳代謝を図るべき時期にさしかかって参りました。

OB会役員の任期は、現行の会則では期限の制限はありませんが、広く新たな視線や考え方をお持ちのOB諸氏に是非ともOB会活動に参画いただき、OB会並びに理工ボート部の更なる発展にお力添え頂きたく、ご意志ある方には進んで下記メールアドレスまで挙手のほどをお願い申し上げます。

早大理工ボート部OB会
役員候補の公募
hokisufka@freeml.com

ここ数年、現役学生による熱心な新人勧誘活動及びそれを支える現役支援委員会/監督・指導陣の支援強化の効果もあり、10名を超える新入部員が集まるようになってきています。理工ボート部もようやくボトムの状態から抜け出しつつあり、部再興への足場が固まりかけようとしているところであり、部員の長期定着化を図るとともに、新入部員数の更なる増大を目指し、現役支援の強化を図っているところです。

一方、今年の早慶レガッタにエキジビションながら、クォドルプルによる女子学部対抗レースが正式に組み込まれましたこと、昨今の学生ボート界における女子パワーの隆盛を示すもので、私を含め還暦過ぎのOB諸氏には想像すらおよばない現在の理工ボート部の活動状況ではないでしょうか。

さて、上述の通り現在の理工ボート部の活動状況は、

部員数の増加とともに女子選手の活動の活発化もあり、練習や試合に使う艇やオール不足、特に男女とも試合に使用する艇が不足しています。実際のところ、一艇あるエイトも現役男子漕手の平均体重にマッチするものでは無く、また女子漕手用としては、今年の早慶戦の女子学部対抗戦種目のクォドルプルは、OBが相模湖に所有・保管している重い艇を搬送して使用予定とするなど、大きな障壁となっています。

今後は、現役学生及びOBの為のレース艇の購入計画(エイト&フォア)につき、予算を含めた中・長期計画を立案し、実現に向け努力してゆく必要があるところです。

OB会では、今年度のOB会全体の重点施策として、上記レース艇やオールの購入のための予算を見据え、会員リレーション委員会を中心にOB会費の増収の為の活動強化を進めつつあり、OB諸氏におかれましても、同期の仲間や卒業年度の前後のOBへのお声がけ等、更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

《2018 年これからの催事行事予定について》

2018/02/25 催事委員会 中平

催事委員会では、地方遠征、喜多方合宿の話もありますが、集合しやすい“戸田”での花火、ふるさと祭りなど

の催事に合わせてボート練習できないか模索しております。午前中戸田コースまたは荒川で乗艇⇒午後催事に参加、または行事から参加。詳細は今年の日程が判明してから案内させていただきます。下記は去年の様子です。

戸田橋花火大会, <http://www.todabashi-hanabi.jp/>



戸田ふるさと祭り <http://todafurusato.com/>



中部・関西大会遠征

2018/10/14(日)に愛知池で開催予定のマスターズレガッタに参加できないか模索しています。愛知、関西近辺の OB に加え東京からの碧水会 RC メンバーで参戦を計画しています。詳細が判明次第、クルー募集など案内させていただきます。

<http://www.inh.co.jp/~ara/>

の中ほどの「☆【参考掲載】18 年度競漕会日程案掲載」をクリックすると下記日程案がでてきます。昨年の大会要項は下記にあります。

www.inh.co.jp/~ara/regatta/masters/17masters/17masters-appli-etc.htm

2018年度競漕会等日程案(愛知池漕艇場他)

※まだ日程については最終確定ではありませんが、参考に掲載します。18. 2. 6時点 (MR大会日程変更)

期 日	大会名	主 催	場 所
10月13日(土)～14日(日)	県高校新人選手権	県高体連	愛知池
※マスターズ、クラブ選手権は14日のみ	第12回ジャパンオープンマスターズ、第28回マスターズレガッタ	愛知	
	第18回全国ボートクラブ選手権	全国ボートクラブ連合	

《 歓迎 新入OB会会員 》

平成 30 年 3 月 4 日(日)卒業生追出しコンパ(金城庵 本館)には、卒業生 7 名、現役部員 21 名、碧水会から鳥羽会長以下 10 名の総勢 38 名が参加し、理工ボート部主務の渡辺匠君による進行のもとで盛大に執り行われた。今年の卒業生は以下の 7 名で、大学院進学 3 名を除く 4 名が新入OB会会員となる。

- 就 職：杉本 光、村田慎吾、中谷理沙、中野佑香
- 大学院：安納光太郎、上田慎二、田村研人

鳥羽会長から、卒業のお祝いとOBがあつて現役部員があるので、新OBも現役部員を是非サポートするようにとの挨拶があつた。続いて、林監督から卒業生の今後の活躍と理工ボート部が更に強くなって昔の輝きを取り戻すことを祈念して乾杯の音頭が執り行われた。



鳥羽会長からの挨拶の模様
ビジョン・会則整備委員会小堂委員長からは、56 年前の理工ボート部発足以来の理念である「弱き者は歩け 健康な者は走れ 強き者は競技せよ」を卒業した後も実践し、逞しく社会に役立つ人材になってほしいとのエールが送られた。

会員リレーション委員会高荷委員長からは、OB会費納付状況やOB会入会の手続き要領の説明および碧水会活動への参加を呼びかけるとともに、卒年幹事を安納光太郎君にお願いすることになった。

また、今年の卒業生 7 名各々から挨拶があり、現役時代に得られた教訓として、同期メンバーおよび理工ボート部を大切にすることの重要性、現役部員に対するボート活動活発化への期待、卒業した後も理工ボート部への関係を続けてゆきたい等の意見が述べられた。

恒例によって、現役支援委員会高島委員長から、卒業後も帰ってこられる場所は理工ボート部であることや後輩の面倒をみてほしいという言葉とともに、卒業生 7 名に対して記念品として碧水会グッズ 2 点(キャップ、エンブレム)が贈呈された。続けて、財政・会計委員会に代わって会員リレーション委員から卒業生 7 名に、OB会への入会手続きに関する書類が手渡された。



写真：碧水会記念グッズを贈呈された今年の卒業生 7 名
後ろ左より：安納光太郎(卒年幹事)、上田慎二、中野佑香(新OB)、村田慎吾(新OB)、杉本 光(新OB) 田村研人、手前：中谷理沙(新OB)

今年の「お花見レガッタ」(3 月 24 日(土)、25 日(日)戸田オリンピックコースにて開催)に出漕する現役部員から、クルーごとにレースに向けての力強い抱負が語られた。

- 男子付きフォア：C 谷口、S 内藤、3 松坂、2 今町、B 上原(全員 1 年)
- 男子ダブルスカル：S 渡辺、B 川上(ともに 2 年)
- 男子シングルスカル：福島(2 年)
- 女子クオッド：C 山田(1 年)、S 小松(2 年)、3 村越(2 年)、2 矢島(1 年)、B 新田(3 年)
- 女子シングルスカル：小松(2 年)

卒業生と理工ボート部現役部員の明るさや団結力、ボート競技への積極的な姿勢が感じられ、かつての理工ボート部の活況を取り戻す原動力になり得る世代ではないかと感じた。

今後も、新加入OB 7 名を加えたOB会が現役部員の活動を支援するとともに、碧水会の全体活動の活性化を期待した次第である。

(S50 年卒 高荷)

写真左：卒業生(前列左から 7 名)、現役部員およびOBの集合写真



《現役だよ!》

皆で真剣にボートを楽しむ

学部 3 年の新田彩乃です。この場をお借りしてこの度早慶レガッタにて女子学部対校レースを実現すべく、OB の皆様に多大なるご協力・ご支援、そして応援を賜りましたことを心より感謝致します。

現在 W4X+は相模湖にて合宿を行い、お花見レガッタ、そして早慶レガッタを目指して練習に励んでおります。

今回「暁」に寄稿させて頂く機会を頂き、語りたいことが多くてまとまらず何度も書き直しました。ただ一つ、OB の皆様にお伝えしたいのは、早慶レガッタ女子学部対校の実現はクルー皆の夢だということです。正直なところ、1 年前から夏頃までは、私自身が出たいという思いの方が強く、それ故に一人で全部解決しようとしていました。しかし、実現を阻む様々な壁を乗り越え、補漕も含めクルーそれぞれが同じように早慶レガッタに対して強い思いを抱いていること、そして、本当に多くの方々が我々を応援して下さっていることを知ることが出来ました。だから今は、クルーと応援して下さいの皆様と共にレースの実現と勝利の喜びを共有したいと思い、日々練習に勤しんでおります。

早慶レガッタは特別なレガッタです。独特のワクワク感、純粋にレガッタを楽しむ大勢の観客、大きな歓声、隅田川で漕ぐこと、早慶という良き競争相手が生む一種の一体感、私は今まで観戦した 2 大会で、たった 2 回とは思えないほど多くの感動を覚え、すっかり早慶レガッタの虜になってしまいました。「真剣に楽しい大会」とでも言いましょうか。楽しいことはスポーツの基本のキだと思います。だからこそ、クルー全員で真剣に早慶レガッタを、ボートを楽しみたいと思います。その姿を観てボートを始める女子が増えることが更なる野望です。幸いにも練習は真面目にこなしながらもとても楽しく、乗艇中は皆で声を掛け合うなどとても良い雰囲気です。ここでそんなクォードクルーの紹介をさせて頂きます。

* 山田菜々子 (Cox, 1 年) : 高校時代はボート部。その的確で冷静な指導で漕手からの信頼が厚い。1 年生ながら漕手のメンタルサポートも出来る心優しい Cox。漕手もマネージャーも出来るマルチ部員。クルーのマスコットの存在。

* 矢島美季 (1 年) : 逞しい期待の新人漕手。去年はシングルで全日本新人に挑戦。相模湖レガッタでは優勝も果たす。辛い練習も先輩や同期に励まされながらこなす。先輩

にも怖気付かず意見を言ってくれる皆の妹のような存在。

* 小松美緒 (2 年) : 頼れる女子主将兼クルーキャップ。我らがエース漕手。エルゴはただ一人 8 分切りを果たした。ストイックに地道に積み上げた実力で全日本新人に挑戦。今年もより高みを目指し、クォードと並行してシングルも練習中。

* 村越叡理那 (2 年) : クルーの雰囲気調整役。去年は小松とダブルで全日本新人に挑戦。会計の仕事と両立させながら練習に励む。入部以来怪我無しの丈夫な身体を持ち主。ドラマで観たクォードに憧れてボート部へ。夢が叶いそう。

* 新田彩乃 (3 年) : 後輩に負けないよう、日々練習に励んでいます。ずっとシングルかダブルに乗っていたので引退前にクォードを漕げることを幸せに思います。

早慶レガッタまであと 2 ヶ月。これからもっとクルーのことを知って、練習を重ねて、感動を生み出せるように努力致します。朝早く短いレースではありますが、必ずや熱いレースに致しますので、どうぞ隅田川まで足を運んで頂き、男子学部対校共々、応援のほど宜しくお願い致します。



初めての 4X+練習@相模湖 (左から小松、矢島、山田、村越、新田)



2/24 の乗艇練習にて (武田助監督撮影)。

碧水会のブログより

《第 15 回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタ参戦記》

S50 卒 横塚隆一郎

第 15 回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタ

開催日：平成 29 年(2017) 11 月 19 日

会場： 宮ヶ瀬湖カヌー場

神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬

〔レース成績〕

大会公式記録はこちらから閲覧可能です →

<https://tinyurl.com/y9lb2jho>

◇男子 8+ 500m

	順位		クルー名	平均 年齢	ハン ディ (ss.00)	実タイム (m:ss.00)	修正タイム (m:ss.00)
	修正	実					
1回目	8	7	早大理工碧水会	63	12.95	2:02.22	1:49.27
2回目	9	9	早大理工碧水会	63	12.95	2:24.16	2:11.21
合計	8	9	早大理工碧水会	63	12.95	4:26.38	4:00.48
	(10杯中)						

{はじめに}

碧水会高橋キャプテンよりの依頼により標記の参戦記をしたためる。

小生は同期からの誘いを受け、55周年記念レガッタに出場することになってから漕艇を再開したものである。今年のマスターズには同期でエイトクルーを編成し出場したが惨敗し、以来碧水会の乗艇練習やレースにも参加するようになった。従って宮ヶ瀬紅葉レガッタには初参加であった。

{乗艇まで}

前夜の地元自治会会合後の飲み会は欠席し、当日朝 5 時 10 分に栃木県小山市の自宅を出発。途中橋本さん、吉田さん、小林さんに同乗願い、宮ヶ瀬漕艇場に着いたのは 8 時 10 分であった。我々が最も遅い到着組で、既にブルーシートも張っており、他のメンバーの元気そうな様子に出会えた。天気は晴れであるが、北風に冷気が運ばれてきており、太陽が雲に隠れると寒い。宮ヶ瀬湖周辺はまさに紅葉のピークであり、水辺に映る紅葉は見事であった。



ここで、メンバーを紹介しておこう。コックスは吉田先輩が務め、整調：池田、7 番：橋本、6 番：高橋、5 番：小林、4 番：野村、3 番：井窪、2 番：横塚、バウ：澤田であり、50 年卒が 5 名を連ねるクルーである。尚、野村さんは腰痛で欠場した 50 卒高荷さんの代漕であり、ペンタのクルーとの掛け持ちで参加してくれた。平均年齢は 63 歳で当日初めて編成した急造クルーである。



相手クルーは平均年齢 68 歳で経験豊富な様子、かわいい女性がコックスを務めていた。第 1 戦・第 2 戦とも同じ相手と戦う 2 杯レースである。第 1 戦は第 4 レース目であり、開会式参加を免除してもらい秋の湖面にエイトを進めた。

{第 1 戦}

岸蹴りからウォームアップに入ると、意外とバランスが良い。スタート練習も意外と感じが良く、「これはやれるぞ!」と感じた。そのまま意気軒昂にスタート位置に着けスタートの準備を各人で行っていた。途端に隣のクルーがスタートし、慌てて我々も漕ぎ出したが、スタートで 1 艇身程度のリードを許すこととなった。スタート方法は、いきなりアテンションになり「ゴー」という方式で、油断していた。我々のピッチは 32-33 でリズムはまあまあであった。途中足蹴りで逆転し 1 艇身程度リードした。500m のレースであるが、どこがゴールかは判然としない。後半つめられ、相手クルーから先にイージーオール掛け声が聞こえたが、結果は我々が 1.5 秒先着し勝利していた。

{昼休み}

昼食は各人が用意したものと主催者が用意する豚汁である。豚汁は 11 時配膳開始と同時に受け取り食した。肉は少なめだが、紅葉を愛でながら暖かいものを食べるのはすこぶる美味であった。食事の後、「レースのビデオがある」とのことで鑑賞した。各

人とも自分の漕ぎを注視し、「後半は・・・を改善しよう！」として、第 2 戦に臨んだ。

{第 2 戦}

第 2 戦は昼休み後の第 1 レース目である。係員が、「乗艇できますよ。艇は船台に着けてありますので、早めに乗艇して下さい。」と言ってきた。午前以上に逆風が強くなっており、うねりも出ていた。艇は細身で吉田さんは「腰が入らない」と苦勞していた。ウームアップに入ったが、バランスが悪く思うように漕げない。ウームアップの時間は十分にあり、ライトパドルでの練習やスタート練習等行ったが、一向に良くなって来ない。「ピッチを落として 1 本 1 本丁寧に漕ごう！」と方針を変え、逆風に対処しようと心掛けた。

「午後のレースは予定より早く進めたい」との本部意向を尊重し、早めにスタート地点に行ったが、係員が到着していない。結局 10 分程度待たされた挙句スタートした。今回はスタートで出遅れることなく、ほぼ並んで漕ぎ出した。しかし、バランスが悪く相手が先行していくこととなった。結果は相手に 10 秒以上離され敗れてしまった。

{反省会}

第 1 戦後・第 2 戦後に小ミーティングを行い、会場外のマクドナルドでも反省会を行った。「乗艇頻度を上げる必要がある」、「体力を向上し、後半のタイム落ちを少なくせねばならない」、「相手は週 2 回程度乗艇している。やむを得ない」、「負けても楽しかった」等等、いつもの反省会と同じような意見が出された。また、「強風でフェザーターンがうまくいかなかった」、「昼食はレース終了後に食べた方が良かった」、「体の冷えない工夫が必要であった」等、今回のレース特有の指摘も出された。

{終わりに}

自宅には 16 時 40 分頃に到着した。妻が「早かったのね。で結果は？」と聞いてきた。「1 勝 1 敗」と答えたが、不満足な結果であることが妻に知られてしまった。「体を壊さない範囲で頑張っただけ」と励まされビールを飲んだ。乗艇後仲間と伴に味わうビールは爽快であるが、自宅で一人反省しながらのビールは苦かった。

まだまだ力不足だが、少しずつ改善している実感はある。今後も漕艇しようと思っているので、仲間に加えてもらいたい。

《第 16 回横浜ボートマラソンレース報告》

荒川裕明 S52 卒

平成 29 年(2017) 1 月 3 日 (日)

会場：横浜市鶴見川漕艇場

絶好の上天気に恵まれた鶴見川漕艇場にて年内最後の大会となるボートマラソン(6.2km)が開催されました。



C 篠原伸夫 S56 S 荒川裕明 S52 7 小林良夫 S52 6 野村祐造 H03 5 芦澤正洋 H02 4 小寺浩二 S60 3 本田一博 H03 2 高橋康夫 S52 B 栗原修一 S59

ボートマラソンは、漕艇場前からスタートし鶴見川を遡り、鷹野大橋付近で U ターンし漕艇場前に戻る 6.2km のタイムレースです。各艇は漕艇場前を 4~5 分間隔でスタートしタイムを競い合います。種目は、4+、4X+、KF、8+にチャーチボートが加わり 5 種目あります。碧水会からはエイト(50~59 歳)に出場しました。

{ レース動画 }

横浜市ボート協会のホームページに写真&動画集が掲載されています。次の URL をクリックすれば、碧水会の動画を見ることができます。

<https://tinyurl.com/ybc54pfv>

{ レース成績 }

8+(50~59 歳) 6.2km

クルー名	順位	実所要時間	平均年齢	USRハンデ(1000m)	同左5600mハンデ	ハンデ修正ネットタイム	修正後順位
PENTA ROWING	1	23:23	54	14.6	1:22	22:01	3
稲門観友会 稲門ミドル	2	23:28	57	18.0	1:41	21:47	2
淡青会A	3	23:41	59	20.5	1:55	21:46	1
君津ボートクラブ	3	23:41	55	15.7	1:28	22:13	4
矢切・団塊号ミドル連合	5	24:07	57	18.0	1:41	22:26	5
医王会エイト	6	24:55	58	19.2	1:48	23:07	6
早大理工 碧水会	7	25:05	56	16.8	1:34	23:31	7
PENTA with YOU	8	25:53	53	13.5	1:16	24:37	8
TMRC-EA	9	26:17	55	15.7	1:28	24:49	9
陸水艇友会	10	26:26	52	12.5	1:10	25:16	10
木月艇友会 ハーミリアン	11	27:36	55	15.7	1:28	26:08	11



12 月 3 日鶴見川でボートマラソン(6.2km)が開催され、我が碧水会 RC もエイトで参加しましたのでその顛末を、整調を漕いだ荒川が報告いたします。なお、今回 7 番小林、6 番野村、5 番芦澤、4 番小寺、3 番本田、2 番高橋、バウ栗原、Cox 篠原、でした。

空明るく頗る晴天、師走に入って寒気下り、各々ウィンドブレーカなど着こみ乗艇する。この大会は各艇が 3 分おきにスタートし、3km 弱を上流に上り、反転ブイを回り、残り 3km 強を下流に下りその正味時間を競争する、というものです。3 分差といっても力に差があると追い抜かれます。我がクルーの後には強豪稲門ミドルがスタートする予定で、一昨年だったか彼のクルーに抜かれる恥辱を味わい煮え湯を飲まされた経験があります。スタートはレディー状態で勝手に各艇がスタートを開始できるので、赤旗が下りたら即スタートし、4 分の貯金を貯めておきましょう、と Cox 篠原さんを含め姑息な相談をしていたが、なんとスタート直後に稲門ミドルが接近しすぎ、スタートをやり直し。そんなこんなで逆に 2 分差のスタートとなってしまったのです。



上流側へは逆風で、予てからのレースプラン通りレートは 25~26 に設定、長旅となるので力はセーブ、バランスもまずまず。ところがしばらく漕ぐと 7 番小林君が「早い早い」と叫ぶ、おっといけないスピードコーチを見るとレートは 27 に上がっている。すかさず Cox 篠原さんが「2 枚落とそう」、で徐々に予定の 25 に落とす。疲れるとレートが上がる癖があるのは分かっているが自分ではそんなに疲労感はない。後続が稲門ミドルという事で突っ込み過ぎてしまったのか、何故だ？整調の頭は少々混乱。し

かし冷静に分析を開始するとキャッチで追われているのに気付く。「フォワード抑えろ、フォワード抑えろ」と連呼しその直後は少し抑えられるがまた追われ始める。レートは 25 から 27 を上がったたり下がったりし始める。フォワード中の艇加速度につられシートは早く移動するがレートを抑えようとキャッチでタイミングを遅らせようと悪循環となる。後続は徐々に迫る。



転換ブイに到着、即反転しライトパドルに上げる頃には稲門ミドルが反転に入り始めた。既に 1 分 30 秒近くの貯金を食いつぶしたが、Cox 篠原さんの転回技術がなかったらこの時点で抜かれた可能性も否定できない。



その後もレートは上下しバラバラのタイミングだったがバランスは比較的良好、士気も落ちてはいない、なんとしても抜かれないぞ。しかし一度は 100m 近くに迫った後続もそれ以上接近することはない。バラバラではあるが順風でそこそこ艇速も出ている。ここまでくればなんとか逃げ切れるという頃、Cox 篠原さんが櫂を飛ばす、「残り 300m、2 枚上げよう」。追われて抑えに抑えたレートを解き放つ感じ、さあ上げるぞ「付いてこい」という気持ちでレートを 28 に。しかしここから快進撃が始まったのです。気持ちいいほどぴったり合っているのがオールとシートを介して分かり、それは篠原さんも感じたようで、「残り 150m、もう 2 枚上げよう」。レートは 30 に上げたが後ろもぴったり付いてくる、いい感じ。この観客席の前を通過するこのラストのみ見た人は、きっと稲門ミドルを追い抜いてきたクルーに違いない、と感じたかどうかは知りませんが、そのような激変ぶりでした。途中経過を知らない応援してくれていた土屋さんは、「稲門ミドルよりずっと良かったけどなあ」。

おわり



以上が今回のレースの顛末です。記録的には 25 分 5 秒、7 位／11 艇という事だったらしいです。稲門ミドルとは 1 分 30 秒近い遅れを取りましたが、反転後は差があまり縮まらなかったようです。なお、ビデオでもキャッチが追われているのがよく分かりますが、それは整調視点であって、後でキャッチが遅いと皆さんから顰蹙を買いました。そんなこんなをばらばらクルーでしたが、最後は鹿島田駅近くに新しく開拓した中華料理店で、既に来年のレースプランを楽しく語り合ったのです。お疲れさまでした、ほんとに。

《初漕ぎの一日》

平成 30 年(2018)

平成 30 年(2018) 1 月 13 日(土)

場所：戸田オリンピックコース

「初漕ぎ」というのは、現役の学生主催による「初漕ぎ」の行事のことをいいますが、今回の報告は、初漕ぎの行事のみを報告するのではなく、OB である碧水会会員たちがこの初漕ぎの日どのような活動を繰り広げるのかを追ってみることにします。

この日一日の行事の内容を広く OB の方々に知っていただき、来年の初漕ぎにはぜひ多くの OB の方に参加していただきたいという願いを込めて作成された報告になりました。

【注】碧水会ホームページ上のブログに掲載された写真の上をクリックすると拡大画像を楽しむことができます。

碧水会 RC の初練習（実質的な初漕ぎ）

今回の報告は碧水会 RC 主将の高橋康夫 S52 さんに担当してもらいました。また写真撮影は催事委員会委員長の中平法生 S57 さんによるものです。中平さんが撮影してくれた写真は朝の練習に始まり懇親会の終了までを克明に記録したもので実に 271 枚に及びます。静止画像ながら、順番にながめているとドキュメンタリーを見るような感動があります。一見の価値ありです。(271 枚の写真はこちら → <http://img.gg/6aTNC9P>)



【初漕ぎ・報告】高橋康夫 S52 卒

〈RC エイト初練習〉

9:30 戸田国際艇庫前集合。艇は回天Ⅱ、シートは、C 吉田、S 野村、7 小林、6 高橋、5 芦澤、4 小寺、3 福田、2 横塚、B 栗原。高橋が前日充電して持参したコックスボックスはスイッチが ON のままで残量が 0、急遽三菱艇庫に代わりを借りに行く。

10 時過ぎに乗艇開始。気温は低いけど晴天・波風なく絶好のコンディション。残念なのは、コースがスカル・クオードで満杯状態。10 時 45 分を過ぎるとその混雑もなくなり、ショートローを混ぜた LSD 中心で合わせて 3 周回る。ややストサイに傾く傾向はあったが、そこそこにバランスもとれて、いい練習ができた。

《反省》10 時半までは、コースが混んで練習ができないので、それ以降に乗艇すべき。毎年そう思うが、

必ず 1 年経つと忘れて同じ反省を繰り返している。

〈蕎麦屋で昼食がてらミーティング〉
これも例年どおり国谷で行う。ミーティングの主題はマスターズのクルー構成。

S50 卒は横塚さんによる調整で向坊さん迎えて大方エイトとナックル(×2)が組めそうなところまで来ているが、それ以外の RC メンバーについてはクルーがまとまらず。エイトを関西との相乗りという案も浮上した。引き続き調整することになるが、今までになく難航しそうで時間が掛かりそう。

《反省》他にも調整したいことがあったが、ビール

《現役主催の初漕ぎ》

今年は、回天Ⅱのエイト 1 艇だけ。

1 ラウンド目、OB から向坊さん・橋本さん・井窪さん、それに熊谷助監督が乗り、後はコックスを含めて現役が埋めてくれた。中には乗艇中、補漕の現役女子と仲良く話をしていた OB もいたとのこと。吉田さん・中平さんにも乗って欲しかったが、残念ながら辞退された。

2 ラウンド目は、S54 那須原さん・栗原さん・S59 堀内さん・S59 小野澤さん、それに熊谷さん。後は現役というクルー構成で、正調是那須原さん。2 ラウンドした現役によるとやはり漕ぎ慣れている OB が乗った 1 ラウンド目の方がバランスが取れて漕ぎ易かったとのこと。



〈懇親会〉

現役が準備してくれた豚汁・おにぎりをつまみなが

から焼酎まで入ってくると 当然のことながら話はまとまらない。



ら楽しくビール飲ませてもらいました。参加した現役からは今年の抱負・意気込みを聞かせてもらいました。



《校歌斉唱》

最後は例によって校歌斉唱。今年のエールは吉田さんが勤めてくれました。

《総括》今年

も全体に楽しい初漕ぎではあったが、どうも顔触れが何時もと変わらず、OB の参加者が少なかったのが残念。来年はもっと声を掛け合って多くの OB で楽しみましょう。投稿者 渡部義明 s 45 卒



《第 87 回早慶戦観戦のご案内》

早慶戦の準備では、理工OBの栗原修一さん（1984 年理工・工経卒）と小寺浩二さん（1985 機械卒）がレガッタ観戦・応援企画を担当し、精力的に活動されています。また、毎年多くの方がレースの支援に参加しています。これら碧水会の活動が早慶両校のOBから高く評価され、今回から女子クルーの対抗戦も組み込まれました。ぜひ現地にいられて応援をお願いします。

<第 87 回早慶レガッタ観戦・応援企画参加者・団体募集>

早慶レガッタの活性化のために第 84 回から始まった映像のライブ配信は、3 年間の努力によって安定した配信を行えるようになり、第 87 回（2018 年 4 月）ではさらなる充実を目指しています。今回は、特に、ライブ映像を配信するだけではなく、ライブ配信を見ながら観戦していただく場所や環境の提供に力を入れた企画を実施します。

Ⅰ アサヒビールタワー観戦企画

1) ライブ配信カメラ設置のために企画
上空からの映像を配信する撮影場所確保のため、レストランスペース借用を目的に第 85 回から始まり、毎年観戦場所として評判になっています。

2) 企画概要

アサヒビール本社ビル 22F イタリアンレストラン(ラ・ナリータ)で食事をしながら観戦。

A コース) ランチ + ワンドリンク 5,000 円

午後 2 時半～4 時半: 対校エイトレース前後

B コース) ランチのみ(ワンドリンクあり) 4,000 円

午前 11 時半～1 時半: 第 2 エイトレース前後

C コース) お好みで 実費

ご希望の時間帯(2時間)に 席だけを確保。



レストランからの眺め(ゴールまでの約 1,000m)

Ⅱ スタート地点(浜町公園)観戦企画

1) 第 87 回(今年度)の企画

中央稲門会・江東稲門会などの協力を得て、浜町公園内にテントを設置し、大型モニターでライブ映像を観戦できるようにします。

さらに希望団体があれば、同様にテント・机・椅子などの手配を行います。



スタート地点(浜町公園)企画の場所

Ⅲ レストラン等での観戦企画

一般の広告とは別に、ライブ配信観戦企画に協力してくれる店舗を募り、ライブ配信のアカウントや装置を提供します。隅田川から離れた場所でも実現可能となります。

今後企画が決定したら皆様にご案内いたします。乞うご期待

【OB会費納入のお願い】

- ・自動振り込みまたは既にお支払いを頂いた方には、失礼します。(会計年度は 10 月 1 日～9 月 30 日です。)
- ・OB会の活動は、皆様からOB会費により成り立っています。OB会費未納の方は次の口座に振り込み願います。OB会費は年会費 1 万円です。

三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店

店番号 053

口座番号 0542113

早大理工ポート部 OB会

(ソウダイリコウポートブ オウビイカイ)

なお、早慶戦用の口座は、会費口座と別口座ですので、お間違いの無いようにお願いします。

【OB会費自動引き落とし加入のお願い】

事務局ではOB会費の納入にご賛同いただける方に、銀行口座からの自動引き落としをお願いしております。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

熊本に行こう！

S59 栗原修一

第 11 回全日本マスターズレガッタが 5 月 26 日、27 日に開催されます。碧水会 RC からは 20 名弱のメンバーが遠征する予定です。一昨年は、大会直前に発生した熊本大地震の影響でマスターズも中止となりました。我々 5 名は急遽災害ボランティアに切り替えて現地に向かったわけです（稲雲で報告）。その時に訪れた益城町や周辺地域には震災の爪痕が今もなお残っており復興にはまだまだ時間がかかると思われます。そんな中でも、開催地の菊池市をはじめ熊本の多くの皆さんが待ち望んでいたマスターズが開催の運びとなったことは、大変喜ばしいことだと思います。

マスターズ会場の菊池市斑蛇口湖（はんじゃくこ）ボート場は、国内最大級の竜門ダムを利用し、平成 11 年の国体開催時に整備された日本屈指の公認 2000m 常設コース。JOC ジュニアオリンピックや全日本ジュニア等の大会が開催されています。

斑蛇口湖（はんじゃくこ）ボート場



菊池市は食べ物も美味しいです。豊かな大地と温暖な気候で育ったお米（菊池米）とスイカ、メロンは全国でも有名。特に 5 月の菊池のスイカは最高に美味しいと言われています。夏のスイカよりは高価ですが是非味わってみてください。

菊池（きくち）の名前の由来は、飛鳥時代の「くくち城」にあるとされます（中国の歴史書「三国志」魏志倭人伝より）。

平安中期より肥後国に定着拡散した菊池氏は、元寇の際には鎌倉幕府の命で一族郎党を率いて敵を討ち取ったと言われています。南北朝時代には九州中部・北部における南朝方の一大勢力となりました。現在でも市内の各所に多くの遺跡が残っています。明治時代にはその菊池氏にあやかって「菊池市」が誕生しました。

その肥後菊池氏と同族とされる陸奥菊池氏は、鎌倉時代

後期～南北朝時代、後醍醐天皇の多くの皇子に伴って全国各地に散らばったとされています。遠野菊池氏もその一族で、海路より青森県八戸市に上陸し岩手県遠野市にたどり着いたと見られています。なお、東北地方では土（つち）へんの菊池氏もありますが、同じルーツのようです。平成 10 年、人口の 2 割を菊池姓で占めている遠野市は菊池市と友好都市宣言を結びました。熊本県に端を発した菊池氏が岩手県遠野市の菊池氏と血がつながっているなんて大変興味深いことです。



くくち城 復元建造物
（歴史公園鞠智城）

私は、2001 年に仕事で遠野市を訪れたことがきっかけで、その後も遠野の皆さんとは家族ぐるみのお付き合いをさせていただいています。当初はこの歴史を知らぬまま、遠野を第二の故郷と思うくらいに遠野にのめり込んだのは単なる偶然か、それとも必然か。年を重ねるごとに自分のルーツはどこからなのか知りたくなってきました。

そんなわけで「家系図作成ソフト」を購入し、両親や親戚から情報を集め始めました。今回の熊本遠征の機会を利用して、親戚や役所を回って戸籍を調べてみるつもりです。熊本県内にいる 10 人もの従兄とも共通の話題ができ一層盛り上がりそうです。ボートを通じて OB の親交を深めるだけでなくこうした副次的な楽しみがあるのもマスターズの魅力と言えるのかも知れません。